

2011年3月22日

日本静脈学会からの被災地の皆様への注意とお知らせ

日本静脈学会および
同学会弾性ストッキングコンダクター養成委員会

去る3月11日に東北関東大震災に被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

日本静脈学会は、血管疾患の中でも特に静脈の病気の予防・治療に携わっている学会ですが、今回のような大震災にあたっては、多数の方が避難所で生活するかあるいは車中泊を余儀なくされています。このような環境の中では皆様もご存じのエコミークラス症候群(静脈血栓症特に肺血栓塞栓症)のリスクが高まってしまう状況にあります。

静脈疾患を扱う当学会としては何とかこの疾患による、罹患者と死亡者を減らしたいと考えます。現在まで学会としては静脈血栓症/肺血栓塞栓症の予防の重要性を「弾性ストッキング・コンダクター養成委員会」を通して啓蒙してきました。

静脈血栓塞栓症を予防するために最も重要なことは**積極的な運動(歩行)**ですが、動けないなどリスクの高い場合には弾性ストッキングを適切な指導の下、使用した方が予防効果は高まるものと考えます。

このような観点から、ぜひ被災に当たられた方にはエコミークラス症候群の予防への関心を深めていただきたく、長時間足を下垂いさせておかない、**時々足首の運動を行う、ふくらはぎのマッサージを行う**、脱水に気をつけるなどに注意して予防に努めていただきたいと思います。

弾性ストッキングの着用について、その適応、はき方、脱ぎ方、問題相談については、東北各県のうち青森県25名、岩手県5名、宮城県32名、福島県33名、茨城県12名の弾性ストッキングコンダクターがすでに養成され、主として病院勤務しております。従って、問題があれば積極的にその方々からの助言をえるようお願いいたします。

また、弾性ストッキングは、各メーカーの援助を得て被災地に届けられるよう準備を進めております。

【日本静脈学会事務局】

〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-1-30

イタリア文化会館ビル 8F

株式会社メディカルトリビューン内

Tel:03-3239-7264 Fax:03-3239-7225

E-Mail: jsp-office@medical-tribune.co.jp

HP: http://www.js-phlebology.org/index_j.html